

## ドイツで飼料のダイオキシン汚染

生産コストを抑えるために粗悪な飼料原料に手をつけることは決して行ってはいけません。しかし、またもや EU で油脂に入ったダイオキシンが飼料に使われてしまいました。この汚染飼料を食べた豚肉の検査から異常レベルのダイオキシンが検出されたことから、すでにと畜された食肉を含めてすべて流通停止となっています。今回のように鶏肉や卵のレベルを越えて養豚場に直接及ぶようなケースは初めてです。ある情報筋の話では既にポーランドやチェコに出荷されてしまったという話もあります。この会社は早くも倒産してしまいましたが、その影響は大きく、直接販売した農場だけでなく、子孫流通を含めて4760 戸にも及ぶ農家が政府主導で閉鎖に追い込まれる事態になっています。食肉センター（パッカー）も出荷停止が続く中で閉鎖してしまったところもあります。こうした事件に世界の反応は早く、ロシア、中国、さらには口蹄疫にあえぐ韓国もドイツ産の豚肉の輸入を全面的に禁止しました。

事件を受けて消費者の信頼を取り戻すために、EU 委員会では今までの飼料業界のルールをさらに厳しく抜本的に改善しなければならないと声明を出しています。

こんな状況の中でこうしたダイオキシンにさらされることなく生産を続けられたオランダの生産者は、通常ならば安全な豚肉に対するよい豚価が出てきて当然のところを、依然として低豚価で推移しているため、一部と場出荷をブロックするなどの不穏な行動に出ている生産者もいるようです。ドイツから波及したこの飼料汚染の影響は EU 全体に及び、豚も鶏も軒並み価格も流通量も下落してしまっています。

(複数のメディア及びオランダの獣医師情報より)

2011 年 2 月 グローバルピッグファーム(株)